

伊集院保健所感染症情報

2025年第30週（令和7年7月21日～令和7年7月27日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippe@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

定点把握感染症

管内流行発生注意報発令：水痘

管内流行発生警報発令中：咽頭結膜熱，ヘルパンギーナ

定点医療機関【インフルエンザCOVID2，小児科1，基幹定点1，ARI2】

疾 患 名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第27週	第28週	第29週	第30週	先週からの増減	第29週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	159.00	159.00	150.00	124.50	↘	62.33	↗
インフルエンザ	30	10	10	0.00	0.00	0.50	1.00	↗	0.35	↘
COVID-19	—	—	—	4.00	6.00	11.00	11.50	↗	6.51	↗
咽頭結膜熱	3	1	—	3.00	5.00	1.00	5.00	↗	1.06	↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	6.00	3.00	4.00	6.00	↗	1.87	↗
感染性胃腸炎	20	12	—	0.00	0.00	0.00	1.00	↗	5.29	↘
水痘	2	1	1	0.00	1.00	0.00	1.00	↗	0.06	↘
手足口病	5	2	—	0.00	1.00	0.00	1.00	↗	0.39	→
伝染性紅斑	2	1	—	0.00	1.00	0.00	0.00	→	0.90	↘
突発性発しん	—	—	—	1.00	0.00	0.00	2.00	↗	0.45	↘
ヘルパンギーナ	6	2	—	6.00	18.00	7.00	4.00	↘	3.65	↗
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.03	↘
R S ウイルス感染症	—	—	—	0.00	1.00	0.00	0.00	→	1.39	↗
全数報告（カッコ内は本年の累積数）			百日咳6（34）							
※警報域　：太文字で赤色の塗りつぶし、　　注意報域　：太文字で黄色の塗りつぶし										

TOPIC 百日咳の新規感染者が増加しています。注意しましょう！！

百日咳は、百日咳菌の感染によって、特有のけいれん性の激しい咳発作（痙（けい）咳（がい）発作（ほっさ））を特徴とする急性の気道感染症です。百日咳は世界的に見られる疾患で、いずれの年齢でもかかりますが、小児が中心となっています。母親からの免疫が十分でないために乳児期早期から罹患する可能性があり、乳児では重症になり、肺炎や脳症を合併し、まれに死に至ることもあります。

○感染経路は、飛沫感染や感染者と接触したりすることによる感染（接触感染）とされています。

○百日咳の予防対策には、5種混合ワクチン（DPT-IPV-Hib）等の接種が有効です。また、患者との濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう。

県では、8月4日をはしかの日、8月1日（金）～8月8日（金）を「鹿児島県子ども予防接種週間」と定めています。

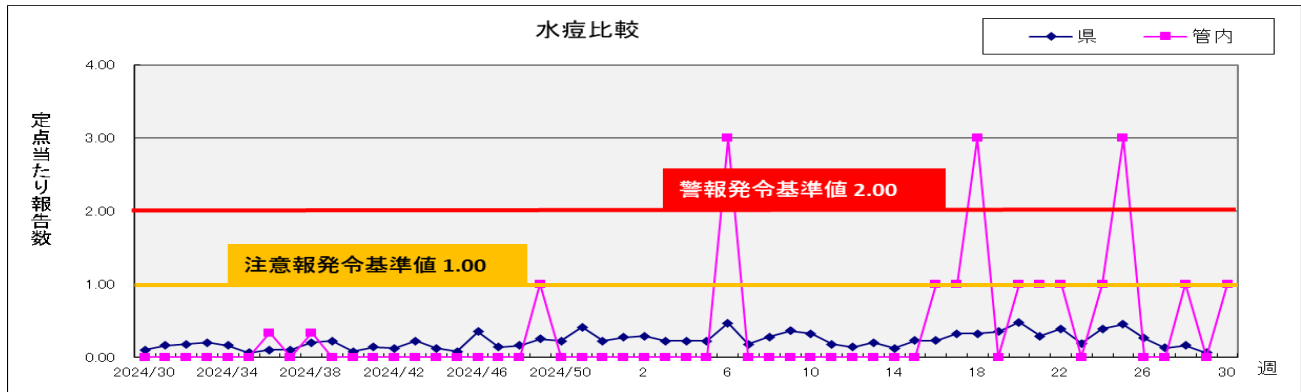
1歳以上2歳未満の子どもは麻しん風しん混合（MR）ワクチン1期、来年度小学校に入学する子どもは麻しん風しん混合（MR）ワクチン2期の対象となっています。

注意：予防接種希望者は、必ず事前に予約をしてから医療機関を受診してください。

定期予防接種の方は、市町村より届いた説明書をお読み頂き、受診ください。

● 注意すべき感染症

・水痘（流行発生注意報発令）



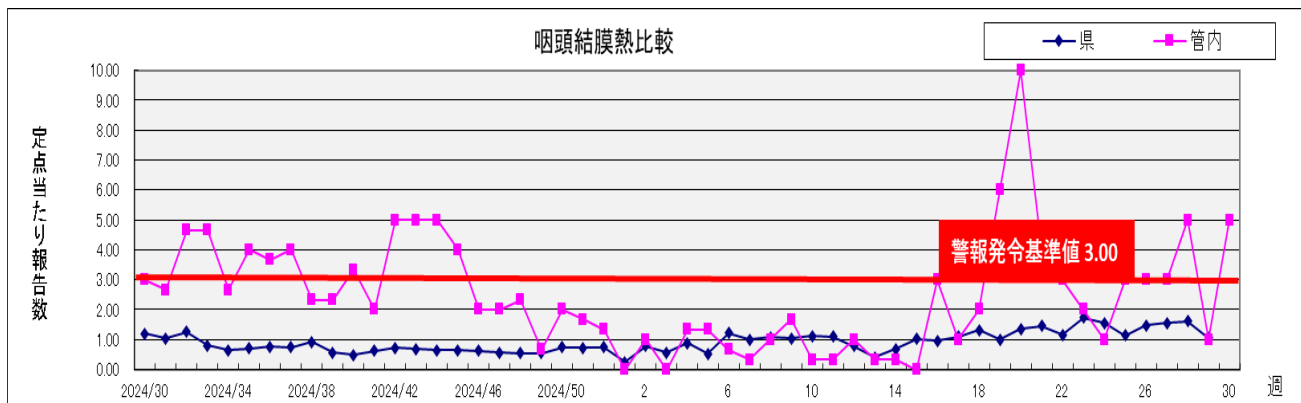
第30週の伊集院保健所管内における水痘の報告数は、1人でした。年齢別では、9歳（1人）でした。

水痘とは、いわゆる「みずぼうそう」のことで、これは水痘帯状疱疹ウイルスによって引き起こされる発疹性の病気です。感染から2週間程度の潜伏期間を経て発疹が現れます。臨床経過は一般に軽症で、倦怠感、掻痒感、38℃前後の発熱が2～3日間続く程度です。典型的な症例では、発疹は紅斑（皮膚の表面が赤くなること）から始まり、水疱（水ぶくれ）を経て痂皮化（かさぶたになること）して治癒します。

感染経路には、空気感染や飛沫感染、水疱の内容物との接触による接触感染などがあり、発疹が出現する1～2日前からすべての水疱が痂皮化するまで感染力があります。

予防方法としてはワクチン接種が推奨されています。周囲に患者がいる場合は、患者との接触を避け、手洗いを励行しましょう。

・咽頭結膜熱（流行警報発令中）



第30週の伊集院保健所管内における咽頭結膜熱の報告数は、5人でした。年齢別では、1歳・4歳（各2人）、6ヶ月～11ヶ月（1人）でした。

咽頭結膜熱は、小児の急性ウイルス性感染症で、飛沫感染、あるいは手指を介した接触感染で拡大します。感染予防策としては、タオルの共用はせず、感染者と密接な接触を避け、流水と石けんによる手洗い、うがいを励行しましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況 7/21～7/27（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週は夏休みのため出席停止は、インフルエンザが5人（インフルエンザB型が5人）のみ報告されています。

疾患名		インフルエンザB型
自治体名		
日置市		5
いちき串木野市		0
三島村		0
十島村		0
計		5